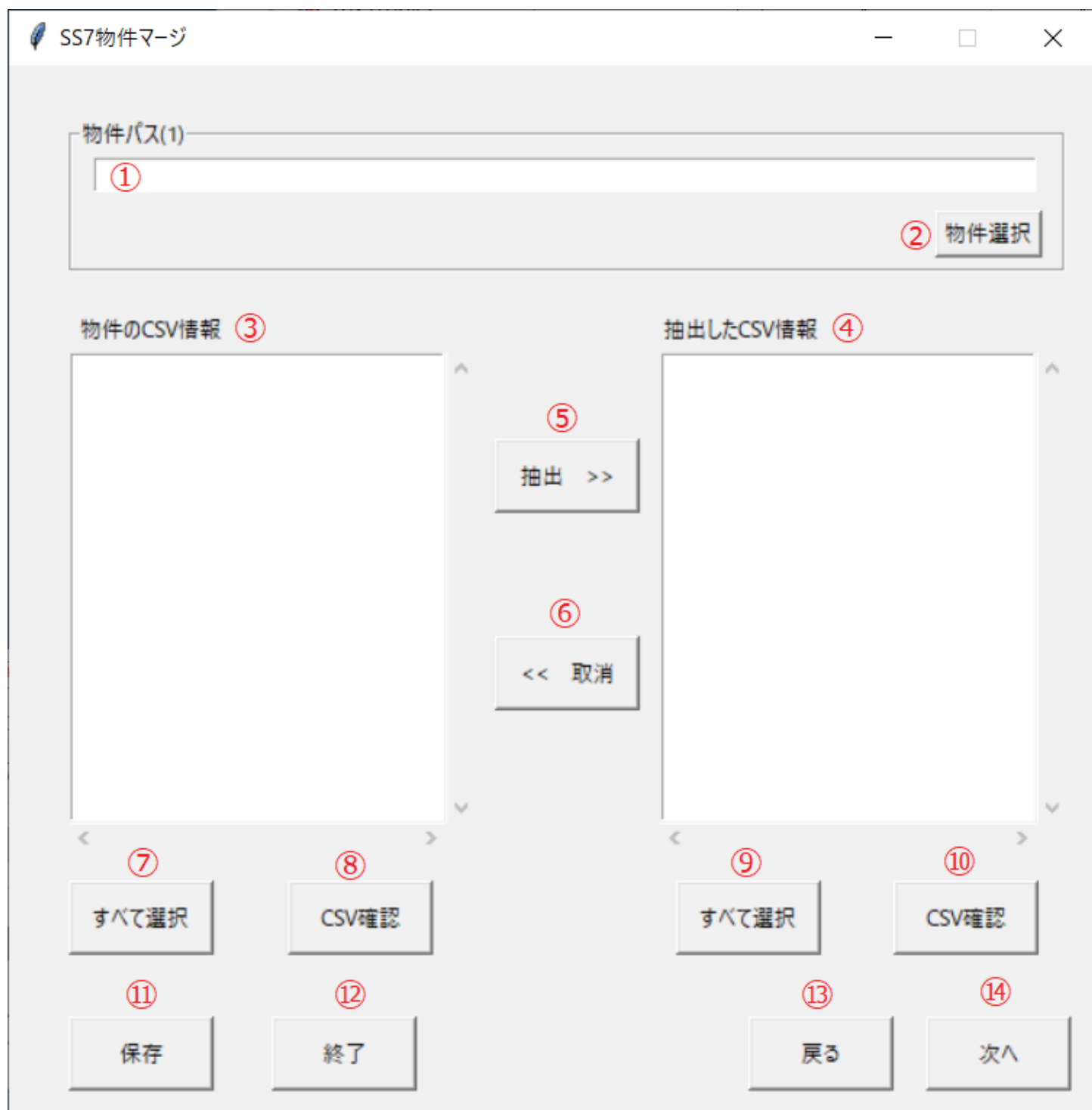


複数の『SS7』データを連結して新たな物件データを作成する

複数のSS7物件データやCSVファイルを対象に、部分的に抽出したデータを連結して、新たな物件データやCSVファイルを生成します。

本プログラムの説明



起動画面

1. 『SS7』物件データまたはCSVファイルのパス名を入力します。
2. 上記パス名を入力後に【物件選択】ボタンを押すと、データを読み込み後に「物件のCSV情報」を表示します。
3. 読み込んだデータの情報を表示します。項目の詳細については、『SS7入力データCSV出力』解説書を参考にしてください。
4. 抽出したデータの情報を表示します。
5. 選択した「物件のCSV情報」を抽出します。
6. 選択した「抽出したCSV情報」を取り消します。
7. 「物件のCSV情報」の全項目を選択、未選択にします。
8. 「物件のCSV情報」のCSV情報を確認します。
9. 「抽出したCSV情報」の全項目を選択、未選択にします。
10. 「抽出したCSV情報」のCSV情報を確認します。
11. 「抽出したCSV情報」を保存する画面を表示します。
12. プログラムを終了します。
13. 前の画面に戻ります。画面左上の物件パス(x)に現在の画面番号を表示します。※最大100画面
14. 次の画面に進みます。画面左上の物件パス(x)に現在の画面番号を表示します。※最大100画面

保存画面

1. 保存するパス名を表示します。
パス名の初期値はカレントフォルダの"csv_xxx.csv"、"ss7data_xxx.ikn"になります。
パス名を変更することもできます。
2. 保存形式を選択します。
3. データを保存します。
4. 保存するCSV情報を確認します。

5. この画面を閉じます。

本プログラムの実行方法

1. データ準備

本プログラムで利用する、『SS7』物件データまたは入力データCSVファイルを用意します。

2. プログラム実行

コマンドラインからプログラムを実行します。

```
例) C:に「example」というフォルダ名で配置する場合
cd C:\example\src
python BkMarge.py
```

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver.1.1.1.19で動作確認を行いました。
- 物件選択で『SS7』データパス名を入力すると、最新バージョンの『SS7』が起動して、必要であればデータ変換を行います。
- 複数の物件データから抽出するため、出来上がった物件データやCSVファイルが『SS7』で読み込めない場合があります。このプログラム上では読み込みの判定は行っておりませんので、『SS7』側で確認するようにお願いします。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

このプログラムは外部ライブラリを使用していません。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。